
第1章 構想策定の趣旨

1 策定の背景

みどりに恵まれた 良好な環境の中で 誰もが暮らしを楽しむ 成熟都市を目指して

練馬区は、都心に近い利便性と多様なみどりに包まれた住環境が両立しているところが特色です。とりわけ、農と共存した暮らしを楽しむことは、区の大きな魅力となっています。また、区内には、区立美術館や練馬文化センター、芸術系大学があり、著名な文化人も多く居住しています。こうした区の特徴から、都市農業では「世界都市農業サミット」や「練馬大根引っこ抜き競技大会」、文化芸術では「真夏の音楽会」や「みどりの風 練馬薪能」など、様々な都市文化の発信とともに、区民による多彩な文化活動も盛んに行われています。

区は、平成30年6月にグランドデザイン構想を策定し、目指す30年後のまちの将来像として「みどりに恵まれた良好な環境の中で誰もが暮らしを楽しむ成熟都市」を示しました。その実現に向けた区の新たな総合計画（地方版総合戦略）として「第2次みどりの風吹くまちビジョン」を策定しています。



具体的な実行計画であるアクションプランに掲げる「みどりの中で優れた文化芸術を楽しむまち」を実現するための取組の一つとして、地域における情報拠点としての図書館のあり方を検討してきました。検討の過程では、学識経験者等から、これまでの取組への一定の評価に加え、学習ニーズの多様化や地域活動への参加意欲の高まりなど、社会情勢の変化を踏まえた新たな図書館機能を求める意見をいただきました。図書館には、基本的機能である読書活動支援を土台としながらも、関係部署や地域団体等と連携し多様な情報を提供することにより、区民の学習活動を支え、地域の課題解決や振興を図ることが求められています。

これからの図書館は、こうした検討を踏まえ、グランドデザイン構想が描くまちの将来像の実現に向け、区民の暮らしに役立ち、地域社会の文化や生涯学習を支えていく知の基盤となる情報拠点を目指します。



2 位置付け

本構想は、練馬区の30年後の目指すべき将来像を示した「ランドデザイン構想」、教育・子育て分野の施策の方向性等を示した「練馬区教育・子育て大綱」をはじめ、区の様々な計画、構想と関連するものです。

これからの図書館の理念やおおむね10年後の将来像、その実現に向けたコンセプトを示します。

3 体系図

